

坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学校だより
令和4年10月号
発行責任者：中村宗義



～やる気にみち、頑張りぬく、みんな笑顔の坂元小～

地域の教育力って？家庭の教育力って？

校長 中村宗義

中学校の裏門前で朝の立哨指導をしていると、通勤途中の方々を見かけます。多くは、バスを利用する方々で、時間を気にしながら足早に歩いているようにみえます。しかし、道路向かいのバス停まで、突っ切れれば10mほどの道のりなのですが遠回りをしてまで横断歩道を利用しています。そんな大人の様子を見ているので、小学生も中学生も横断歩道を使って道路の反対側にわたります。



よく「地域の教育力が薄れてきた」といわれますが、大人が子どもたちのために行事をしたり、何かをしてくれることだけが「地域の教育力」ではありません。当たり前前を当たり前前、是は是、非は非、それを大人が言動で見せてくれる。あるいは、違うときには子どもたちを諭してくれる。本来は、そのような力を地域の教育力というのだと思います。

一方、家庭教育でも同じことがいえます。「子どもは親の言うことは聞かないが、親の行動の真似をする」といわれます。また、「親ができない努力を、子どもに要求しても無駄、努力しない親の子は努力できない」ともいわれます。私の子育てにも思い当たる節があるので、耳が痛くなります。身近なお手本は保護者の皆様です。子供と一緒に努力していくことが大切なのでしょうね。

研究授業を実施しました！

10月3日（月）の5校時に6年2組の教室で、国語の「やまなし」（宮沢賢治作）の研究授業を実施しました。「なぜ、やまなしという題名にしたのだろうか」という課題のもと、6年生の子どもたちが主体的で対話的な学習を進めることができていました。



本校では『わかった』『できた』に喜びを感じ、共に学び合う子どもの育成」というテーマのもと、全職員で研修に取り組んでいます。今後も全職員で授業力の向上を目指し、研修に取り組めます。

3・4年生の算数のできる教諭を募集します

1学期末、はばたき2組の川邊先生が病気治療のため、御退職されました。当面の間、算数専科の安藤先生に引継ぎをお願いしたところですが、10月から、はばたき2組の担任をお願いすることにしました。あちらこちらのつてを通して探してもらったり、市教育委員会も募集をしたりしているところですが、未だに配属がないところです。そこで、保護者の皆様で小学校の教員免許か中学・高校の数学の免許をお持ちの方で、半年間でよいので、算数の指導ができる方は学校（229-0290）まで御連絡ください。よろしくお願いたします。

*裏面もあります。

